



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 42 No. 2432

2012-2013年度国際ロータリーのテーマ



例会場／士別グランドホテル
 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
 会長／尾崎 学 副会長／千葉繁夫
 幹事／泉谷 勇



士別市立「あいの実保育園」と士別R-1が創立50周年記念事業に寄贈した遊具

2012-2013年度士別ロータリーのテーマ
奉仕の心を大切に 平和の絆を広げよう

第2513回例会 2013年6月24日(月)

今日のプログラム

・夜間例会

前回(6月17日)の記録

・普通例会 ・ゲスト卓話

司会 坂口芳一会場監督
 斉唱 奉仕の理想
 本日の出席 出席率 会員50人 出席39人 出席率78%
 本日の欠席 穴田俊昭、今井 裕、輿水広志、近藤峯世、佐藤和彦、谷 温恵、千葉道夫、中村徹雄、細川博司、宮田喜久三郎、山口哲雄

メイクアップ 阿達 勇、泉谷 勇、伊藤優市、大野裕一郎、尾崎 学、織戸俊二、加藤 博、神田英一、北村浩史、国森和麿、近藤峯世、坂口芳一、佐藤元信、志村孝幸、高山 稔、千葉繁夫、千葉道夫、近井孝義、深尾幸夫、宮崎隆雄、山口哲雄、山本俊一、二井内亮太、片庭隆暁

ビジター・ゲスト 士別市立病院院長・山田政孝氏
 ニコニコBOX

累計 314,000円

例会予定

■ 6月例会日 【ロータリー親睦活動月間】

- 6月3日(月) 例会・理事会
- 6月10日(月) 例会
- 6月17日(月) 例会
- 6月24日(月) 夜間例会

■ 7月例会日

- 7月1日(月) 例会・理事会
- 7月8日(月) 例会
- 7月15日(月) 休会
- 7月22日(月) 例会
- 7月29日(月) 夜間例会

■会務報告・・・尾崎 学会長

●ゲストをご紹介致します。士別市市立病院院長であります山田政孝様です。本日は大変お忙しい中、私たち士別ロータリークラブの例会にご出席を戴き、卓話をお聞きする機会を得ることができましたことに、心より感謝申し上げます。

●昨日は下川で開催されたIMに会員29名登録を頂き24名で参加をしてきました。出席を頂いたみなさん、大変ご苦労さまでした。櫻田ガバナーを始め約110名を超える参加がありました。「環境未来都市しもかわの挑戦」と題して下川町の春日隆司氏による基調講演が行なわれました。その後、「ロータリーって何をしているの？ 家庭に職場に我が街にロータリーの心を！」

をテーマに各クラブより発表が行なわれました。当士別ロータリークラブからは、泉谷幹事が奥様の理解とバッチの重さについて発表され、カバナーからも好評を戴きました。その後、懇親会が行なわれ楽しい雰囲気の中で終了致しました。来年は名寄でIMが開催されます。

●また、下川に行く前に、名寄で行なわれた自衛隊名寄駐屯地創立60周年の記念行事を見学してきました。最後まで見ることはできませんでしたが、多くの市民が沿道を埋め、あらためて自衛隊のある町を実感致しました。これからも北の守りの要として、自衛隊名寄駐屯地の役割は大きなものがあると思います。

●先の理事会に於いて、5月に提出のあった百瀬達夫会員よりの退会届を受理致しました。その後次年度の理事会に於いて2013年度から士別ロータリークラブの名誉会員に推薦し、百瀬会員にお会いし了解を頂きました。チャーターメンバーとして50年を超える活動に敬意と感謝を申し上げ、これからも士別ロータリークラブを見守って頂きたいと思っております。また今年2月に森竹会員より家庭の都合により退会届が提出されておりました。先日、本人にお会いし、本年度をもって退会することを承認致しましたので報告を致します。

●先週の例会で報告を致しました、新入会員として田中道也氏の入会を認め次週の例会で入会式を行ないたいと思っております。

■幹事報告・・・泉谷 勇幹事

①昨日、下川で開催されましたIM、出席されましたメンバーの皆様、大変お疲れさまでした。

②来週の夜間例会終了後、新入会員歓迎会を開催いたします、場所は「唯」です。どうぞ宜しくお願い致します。

■次年度幹事報告 奈良康弘幹事

①ふれあい広場2013実行委員会 斉木勲委員長名にて『市民ふれあいのタペ』開催についての御願いが、来ております。詳細につきましては、次年度社会奉仕加藤委員長より、報告させていただきます。

②『じんじん』士別上映会実行委員会 稲沢要委員長名にてじんじん士別上映会の映画鑑賞券の幹事がきております。7月13日(土)上映となっております、前売り券1,000円での販売となっております。購入希望の会員の方は、私まで問合せ下さい。

③6月26日次年度第2回クラブ協議会を開催いたします。詳細につきましては既にFAXにて御案内いたしております。役員及び委員長の皆様、出欠の連絡宜しく御願致します。

■その他の委員会報告

●次年度社会奉仕委員会(加藤 博委員長)：7月6日、7日のふれあい広場ですが、後日、当クラブが何を手伝ったらよいのか、決まると思っておりますので、よろしく願

います。

●次年度会計(高山 稔会計)：上期会費納入のお願い致します。

■ゲスト卓話・・・山田政孝士別市立病院院長

私が(士別市立病院に)赴任した時は307床、一番多い時で医師数29名でしたが、私が院長に就任しました2年前4月は14名、病床数も170床です。そこからのスタートの時に、私が一番考えたのは、とにかく人が集まってくる病院にならなければだめだということです。

まず循環器内科が平成19年になくなり、私が就任した時点で呼吸器内科がなくなり、消化器内科しかないという現状でありました。

その中でなんとか循環器内科の医師をリクルートしたいと考え、1年間長島先生と行き来をしながらお話し合いを重ね、地域医療に情熱を持っている長島先生と沼崎先生に来ていただきました。

去年の10月からほぼ満度に循環器内科診療が開始され、それぞれの検査治療の件数が219例になりました。

「きらりと輝やける医療」、やはり二次医療をきちんと担わなければいけないというところでは、循環器の先生に来ていただいたのは非常に大きかったかなと思

います。外科は北大第1外科で、力強い布陣です。山賀先生は胆膵の専門家で本来は大学に残って欲しい先生ですが、士別出身で自分が来なければ外科がゼロになると赴任してくれました。

現在、当院は消化器の手術では膵臓の頭に支障があった場合、その頭を、胃を、胆管を、腸を切ってそれを全部つなげる一番大きな手術、俗にPDですが、それも当院では可能です。

整形外科では濱田先生は脊椎をいじれる北限の医師です。大きな病院や大学病院でも不在の場合があります。脊椎外来では全道から患者さんが訪れます。

なかなか医師数が増えないのは悩みの種ではありますが、私の支えになってくれたのが現在の佐藤内視鏡センター長であります。彼がいなければ消化器内科は私1人ではとてもできません。

当院は、平成21年に内視鏡センターを立ち上げました。現在7人の看護師が、内視鏡技師の資格を取っています。年間内視鏡件数は、3000~4000です。平成20年から、日本医科大学の三井啓吾先生に来ていただき、平成22年からは、NTT関東東京病院(旧関東通信病院)の大国研先生に来ていただいています。お二人とも、スーパーエキスパートです。名実ともに、日本のトップレベルです。このお2人に内視鏡センターを高く評価していただき、アウェーでなくホームだと言っていただきました。

この背景には、佐藤内視鏡センター長の大変な努力がありました。彼に対する2人の先生の信頼は絶大なものがあります。各種内視鏡検査はもとより、食道、胃、十二指腸、大腸の広範な早期癌に対して、難易度の高い内視鏡的切開剥離術(ESD)を施行していただいています。その治療レベルの高さからも、道内でも屈指です。士別に居ながらにして、最高の治療を受けることが可能になりました。

大国先生は、最近週刊現代で俳優梅宮辰夫さんと対談しています。記事の一端からも、先生が自分の仕事に、並々ならない情熱と自信を持ち、如何に患者さんを大切にしているかがわかります。

この姿勢こそ、私達病院スタッフが最も手本にしなくてはなりません。